

原文

同頁図⑤「吟遊詩人」の説明中に「騎士道的恋愛を主題とする叙情詩を創作し吟じた詩人たちのこと」とあり、ヨーロッパ中世の文学について、誤解するおそれのある表現である。

中世を通じて文学作品の多くはラテン語であったが、11世紀からはラテン語ではなく吟遊詩人を語り手とした騎士道文学が現れた。『ローランの歌』や『アーサー王物語』が代表的であるが、いずれもキリスト教倫理と結びついた英雄叙事詩である。

修正文

中世を通じて文学作品の多くはラテン語であったが、11世紀ごろから俗語の騎士道文学が現れた。『ローランの歌』や『アーサー王物語』が代表的であるが、いずれもキリスト教倫理と結びついた英雄叙事詩である。叙情詩では南フランスなどで吟遊詩人が活躍した。